

◆参加者：2名 ◆天候：晴れ、

活動目的：活動エリア内の植生と特定植物の生育状態観察



1_サワギク（沢菊）の花

溪流沿いを彩る、今年は少なく開花も遅れている

02_フタリシズカ（二人静）の花後

夏の季節の閉鎖花？

03_トチバンニンジン（栃葉人參）の実

若い実でこれから鮮やかな赤に変色していく

04_モミジガサ（紅葉傘）の花

サエズリの谷の沢沿いで、乾燥化で生育が悪い



05_クルミ（胡桃）の殻

リスが胡桃を食べて殻だけを残していったのか？

06_イワタバコ（岩煙草）の蕾

サエズリの道近くで、一株にだけ蕾が付いていた
乾燥化で生育が遅れ気味

07_センブリ（千振）の新芽
悪い

ミズナラエリア、スミレの道とも自生数が激減、生育も

08_ヤマアジサイ（山紫陽花）の花

たくさんのヤマアジサイがアジサイの道斜面を彩る

活動エリア内のこの時期の植生状態と特定植物の生育状態の観察を行ったが、数年前から断続的に進んでいる異常気象により草花の植生状態は今年は特に悪く、乾燥化も進んでいる。

桜の花をはじめ、春の草花、果実の生育は今年は例年に比べ特に早いものも多く見られたが、梅雨以降、高温、少雨により湿潤が必要な植物の生育が大幅に遅れていると思われるものもあり、開花時期のずれなど、植生のバランスが崩れているように感じられる。

記録：竹中